

試験結果・分析

各盗難防止機能についての分析

試験対象車5台の装備品による盗難耐久度は次のとおりです。

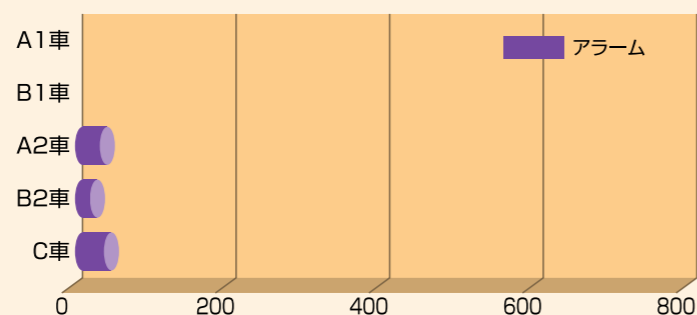
同じ装備でも車の構造等で性能に違いが見られます。



カーアラーム

アラームに精通していなければ短時間での無効化は困難。

耐久時間



※横軸の目盛りは、最も耐久時間(総合)が短かったB1車を100とした時の比率です。
※A1車、B1車はアラームの装備なし

効果の分析

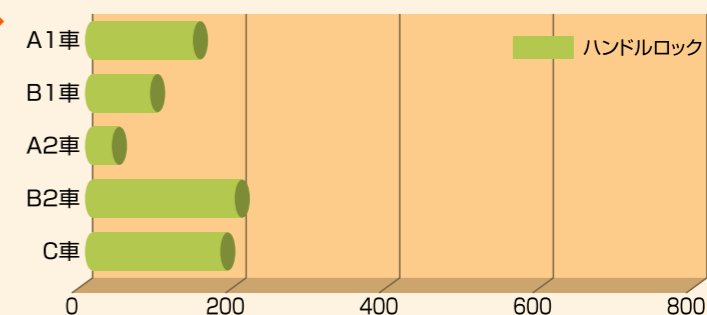
アラームの無効化はアラームの性能やアラームを付ける部位により、効果が大きく異なります。この度は標準的性能のものについて無効化を行いました。結果として無効化に要する時間は短時間となりましたが、事前にそのアラームの種類や取り付け方法など、知識や構造に精通していなければ短時間での無効化は困難であると認められます。



ハンドルロック

ハンドルロック自体の性能のほか、無効化に際し大きな音が発生。

耐久時間



※横軸の目盛りは、最も耐久時間(総合)が短かったB1車を100とした時の比率です。

効果の分析

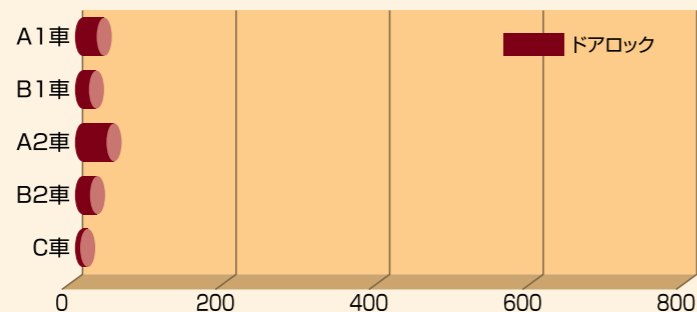
ハンドルロックの耐久時間はイモビライザに次ぐ効果が実証されました。また、ハンドルロックの無効化に際しては大きな音が発生するため、周囲に気付かれずに短時間で無効化することは困難であると考えられます。



ドアロック

ドアロックの無効化は周囲に対して不自然な動作に見える。

耐久時間



※横軸の目盛りは、最も耐久時間(総合)が短かったB1車を100とした時の比率です。

効果の分析

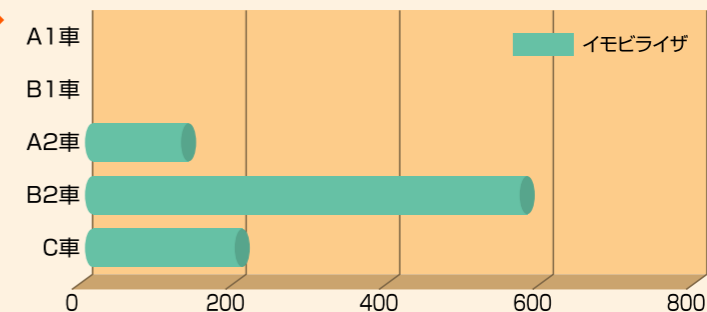
ドアロックの耐久時間は概ね短時間となりましたが、ドアロックの無効化の行為は周囲に対して不自然な動作に見えます。このため駐車する場合にはドアロックをしっかり掛け、防犯整備の整った駐車場を利用することが盗難防止に有効です。



イモビライザ

イモビライザの耐久時間は最高。さらに、時間に表せない効果もあり。

耐久時間



※横軸の目盛りは、最も耐久時間(総合)が短かったB1車を100とした時の比率です。
※A1車、B1車はイモビライザの装備なし

効果の分析

今回試験を行った4つの盗難防止装置の無効化のうち、特にイモビライザの無効化については、最も高度な知識と入手困難な部品が必要であり、単に耐久時間に表せない高度な防犯性能を持つことが確認されました。

